

江戸川沿川 篠崎公園地区



2008/1/21
江戸川区土木部
沿川まちづくり課
推進第二係
TEL 5662-0653



謹賀新年

新しい年を迎え、謹んで新春のお祝詞を申し上げます。

さて、昨年には新潟県中越沖地震が発生し、改めて自然災害の猛威を認識させられました。

本区では、陸域面積のほぼ三分の一について、土地区画整理事業により都市基盤整備を進め、街の安全性を高めてまいりました。

しかし、区内の多くの地域が、地震や水害といった災害に対して、決して万全とは言えません。

今後も、区民と行政、地域一丸となり、まさに協働の力によって安全で安心して暮らせる地域社会を築いてまいりたいと決意を新たにしているところです。

本年もどうぞよろしく願いいたします。

江戸川区都市計画審議会が開催されました。

1月10日に補助288号線・補助286号線・区画街路25号線・篠崎公園・江戸川緑地・浅間神社特別緑地保全地区の変更及び決定に係る江戸川区都市計画審議会が開催されました。

長時間にわたる審議の結果、補助288号線及びスーパー堤防の必要性が認められ、全ての議題は変更原案のとおり了承されました。今後、東京都都市計画審議会が2月に開催され、審議されます。

今回の都市計画変更につきましては、変更反対のご意見等もいただきました。これまでに区では、区内陸域の3分の1を土地区画整理事業によりまちづくりを進めてきました。こうしたまちづくりの中では、本地区と同様にたくさんの反対やご不安などさまざまなご意見をいただきました。そうした中で、地域の皆さまお一人おひとりと十分お話をし、ご理解をいただいたうえで進めてまいりました。

これまでのまちづくり同様、これからも本地区の皆さまへのきめ細かい説明・対応につとめ、お一人おひとりの事情に合わせたまちづくりを行なってまいります。

◆◆◆補助288号線やスーパー堤防の必要性◆◆◆

○補助288号線は、区内中央部の環状道路となっており、広域避難所である篠崎公園への避難路としても重要な役割を果たす道路です。既に前後の区間が完成もしくは事業中であることから早期に整備を進める必要があります。

今回の変更は、重要な防災拠点である篠崎公園の機能の分断を避けることができ、鹿骨街道以南の完成済み路線との接続線形が良くなります。

○スーパー堤防整備事業は、異常気象等による想定以上の洪水や高潮などが発生しても壊れない堤防を整備する事業です。

江戸川区は、三方を川と海に囲まれており、堤防で区民の生活が守られています。もし、堤防がなければ満潮時には、約7割が水没する低地です。これまでも、大きな災害を契機とする堤防強化や下水道整備などの都市基盤整備に取り組んできました。しかし、最近の異常気象により、各地で予想を上回る風雨による洪水や高潮等がたびたび発生しています。このような状況で河川堤防の現状は万全ではありません。こうしたことから、区民の生命・財産を守るために、予想を上回る洪水や高潮等が発生しても決壊しないスーパー堤防整備を区内の河川全てにおいて計画的に進め、起こりうる自然災害に備えるため、「スーパー堤防整備方針」を作成し推進しています。

浅間神社は、歴史的・文化的価値も含め、貴重な社寺林を将来にわたり保全するため、特別緑地保全地区として都市計画決定の手続きを進めています。

また、地域に密着した施設でもあるお寺についても、現在の位置で盛土をし、残していくことで検討・協議を進めています。

ご意見・ご質問等がありましたら、お気軽にお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

えんせん

沿川まちづくり課推進第二係

TEL 5662-0653

※お電話は平日午前8時30分から午後5時までの間をお願いします。

【URL】 http://www.city.edogawa.tokyo.jp/sec_ensen/index.html

